

高鍋高校だより
古豪復活



明 倫



第 10 号

2016 年 1 月

新年、3学期がスタートしました。

▼「校長先生、年頭の挨拶」（1月7日(木)始業式より）

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。今年は、申年です。「申」は動物の猿ではなく、申すという漢字で書きます。もともとは農業用語であり、その意味は「伸ばす」で、「草木が十分に伸びきった時期で、実が成熟して香りと味がそなわり固く殻におおわれていく時期」をいいます。また、悪いことが去る、病が去る年ともいわれています。

今、高鍋高校は、古豪復活を掲げ、学力面や進路実績、そして部活動の実績が着実に伸びてきています。この勢いをますます伸ばし、確かなものにしていくのが、まさに今年であると期待に胸を膨らましているところです。そして、学校からいじめや交通事故違反、生徒指導上の問題が去って行く年にしたいと考えています。一人ひとりが、新年にあたり目標と決意を新たにし、元氣な挨拶、素直が魅力の高鍋の底力を見せつける年にしていきたいと思います。古豪復活、よろしくお願いいたします。



▲始業式（校長挨拶）

3年生、いざ勝負のとき！センター試験へ！

1月16日(土)～1月17日(日)、センター試験が行われます。いよいよ高鍋高校3年生136名が、全国56万3765人に対する、オールジャパン、全国レベルの戦いに挑むこととなります。

学校では、始業式に引き続き、センター試験激励会を行いました。1・2年生が折った千羽鶴で作成された「克己」が生徒会より披露され、応援団によるエールが送られました。

そして試験当日は、両日とも6時30分過ぎに学校に集合し、7時頃、保護者や先生たちに見送られ、全員が元気に会場の宮崎公立大学に向かいました。健闘を祈ります。



▲センター試験激励会



▲応援団演舞披露

◀受験会場へいざ出陣！
公立大学駐車場にて、受験生136名で輪になり、302 黒木雄介くんのかけ声のもと、互いに応援し、気合いを入れました！「為せば成る！」



花園ラグビー、応援ありがとうございました！

全国高等学校ラグビーフットボール大会が、大阪府東大阪市の花園ラグビー場において、昨年12月27日(日)から開催されました。5年連続、23回目の県代表となった高鍋高校ラグビー部は、初日の開会式において堂々行進し、12時より、青森県代表青森北高校と初戦を戦いました。互角に戦い、一時はリードしたものの、21対24と惜しくも逆転負けを喫しましたが、選手たちは伝統ある走るラグビーと闘志あふれるプレーで最後まで諦めずに戦い、感動を与えてくれました。物心両面にわたり御支援・御協力を賜りました全ての皆様に対し、心よりお礼申し上げます。

ラグビー部▶
総勢49名と
その保護者



▼3年 井上 亮キャプテンより

応援ありがとうございました。最後まで緊張感のある試合でした。「必死」の目標通り今まで頑張ってきた3年生は引退ですが、それぞれのステージで頑張ります。ホ之下新キャプテン率いるラグビー部に期待して下さい。応援よろしくお願いいたします！



宮崎県立
高鍋高等学校



〒884-0002
児湯郡高鍋町大字北高鍋 4262
TEL : 0983-23-0005
FAX : 0983-23-5096

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

探究科学コース課題研究発表会 を行いました！ご来場ありがとうございました。

平成 27 年 12 月 19 日(土) 9 時より高鍋高校体育館にて、普通科探究科学コース2年生 40 名による課題研究発表会が行われました。探究科学コースでは、独自の設定科目として「探究」という課題研究の授業を実施しています。生徒が自分で課題テーマを設定し、その解決に向けて研究を進めていくという科目です。生徒たちはこの1年間、毎週金曜日の6限目の「探究」の時間と放課後や休日を使って、自分の決めた課題テーマについて研究してきました。その成果を発表するとあって、担当の先生と何度も語り合い、練習を重ね、本番を迎えました。発表は、課題テーマごとに大きく分けて「国際」「教育と社会」「文学と言語」「自然科学」「医療保健」「社会と人間」「生活」「芸術」の8つの分野に分かれ、ポスターセッションの形式(発表 10 分、質疑応答 3 分)で行いました。課題研究発表会は去年から始まり、今年で2回目となります。

生徒達は「探究」を通して何を学んだのでしょうか。それぞれの見つけた課題について研究する、正解のない学習活動である「探究」は「探究コースならではの」魅力あるカリキュラムの1つです。



▲201 平川 実咲希さん、高鍋の待機児童問題について堂々と発表していました。

発表した生徒の感想より(抜粋)

※高鍋高校ホームページに掲載中です！

- ◇ 探究での研究活動や発表を通して、将来の夢への気持ちがより強くなった。これからも、もっと興味を深めていきたい。
- ◇ 研究では、想定外のことがあったりして、実験が予定どおりできず、本番までに間に合うか、心配ばかりでとても大変だった。1年が短く感じた。
- ◇ これで「探究」は終わったのではなく、「これから先の人生でどう活用していくか」というものだと思います。
- ◇ 担当の先生と何回も練習し、指導をしてもらい、その度に発表が一段と良いものになっていった。本番は、リラックスして発表することができた。これまで支えてくれた先生や家族に感謝している。



▲ポスター発表の様子。来年発表する1年生と、たくさんの方が聞きにきてくれました！中学校からは(生徒、保護者合わせて)58名、発表した生徒の保護者50名の計108名が参観してくださいました！

※新春※ 校内百人一首大会

1月13日(水)に、本校恒例の「新春校内百人一首大会」が行われました。1・2年生の全クラスと3年生3クラスが体育館に集い、白熱した争いを繰り広げました！生徒達はそれぞれ国語の授業や休み時間、昼休みを使って練習してきました。校長先生からの言葉にもありましたが、日本古来の文化に触れるだけでなく、それを通してクラスの親睦を深めることも目的の一つです。クラス全員で協力して、戦うことができました！



▲99 首目まで勝負が決まらず、やっと勝負が決まった瞬間を、同チームの生徒と先生が見守っていた。

結果発表

優勝

1年2組

2年1組

3年7組

2位

3位

1年7組

1年2組

2年2組

2年4組



新春校内百人一首大会

生徒感想▼1年7組 竹内 怜奈 さん

私は今回初めて競技として百人一首を体験しました。体育館には緊張した空気が張り詰めていて今まで体験したことのないような空気を感じました。個人では、2戦とも勝つことができてとても嬉しかったです。冬休みの間、一緒に練習につきあってくれた、母と姉、前日夜遅くまで百首全て読んでくれた父に感謝します。クラスは学年2位だったので、来年は1位をとれるよう頑張ります。

▼2年1組 花坂 尚胤 くん

たくさんの生徒が熱中していた。自分は課題探究で「百人一首を広めるには」という研究を行った。その中で最近競技かるたの人口が減ってきている問題があることを知り、百人一首を衰退させないためにも今回の大会はとても意味のあるものと思った。また、全部覚えている人もそうでない人も、みんな楽しそうだった。これをきっかけに興味を持つ人が増えてくれればと思った。

